

教育長室

令和5年度決算特別委員会の総括質問について
(教育長答弁)

総括質問

池田 こうじ委員 (自民党議員団)

- 1 持続性のある東京2020レガシーについて
(1) 港区における東京2020レガシーの取組について 【生涯学習スポーツ振興課】
(2) トライアスロン・パラトライアスロンのレガシーについて 【生涯学習スポーツ振興課】
- 2 多様なスポーツの振興について
(1) ゴルフ練習場の整備について 【生涯学習スポーツ振興課】
(2) プロバスケットボールチームとの連携について 【生涯学習スポーツ振興課】
- 3 平和教育の体系作りについて 【教育指導担当】
- 4 給食費の保護者負担軽減策の継続について 【学務課】
- 5 同窓会支援について 【教育長室】
- 6 海外修学旅行について 【教育指導担当】

なかまえ 由紀委員 (みなと未来会議)

- 1 区立図書館における声を出せる場所の拡充について 【図書文化財課】
- 2 海外修学旅行について 【教育指導担当】

池田 たけし委員 (公明党議員団)

- 1 ゲストティーチャーによる授業について 【教育指導担当】

兵藤 ゆうこ委員 (みなと政策会議)

- 1 都立特別支援学校の給食費の負担軽減について 【学務課】
- 2 学習支援について 【教育指導担当】
- 3 国際理解教育の推進について
(1) 海外派遣事業の見直しについて 【教育指導担当】
(2) 国際理解教育に関わる担当課長の設置について 【教育指導担当】
(3) 海外修学旅行に係る補正予算計上等の経緯について 【教育指導担当】

白石 さと美委員（港区維新）

- 1 シンガポール修学旅行について
 - (1) 事前調査費用について 【教育指導担当】
 - (2) 複数者からの見積もりについて 【教育指導担当】

福島 宏子委員（共産党議員団）

- 1 学校給食の負担軽減策の拡大について 【学務課】
- 2 芝浦小学校の火災報知機について 【学校施設担当】
- 3 海外への修学旅行について
 - (1) 生徒、保護者、関係者の意見について 【教育指導担当】
 - (2) 誰もが納得する対策について 【教育指導担当】

とよ島 くにひろ委員（参政党の会）

- 1 海外修学旅行についての補正予算案の提出について 【教育指導担当】

令和4年度決算特別委員会の総括質問について

総括質問

委員名(会派名)	池田 こうじ委員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	1 持続性のある東京2020レガシーについて (1)港区における東京2020レガシーの取組について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	東京2020レガシーは、言葉だけでなく大会が終了した後の実際の行動や取組を含む重要な概念です。具体的なプログラムやプロジェクトが含まれ、大会が終了した後も継続的な価値を提供しているのか、現状の港区の東京2020レガシーについて伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では、東京2020(ニーゼロニーゼロ)大会を契機に、MINATOシティハーフマラソンの開催や、ボッチャやブラインドサッカーなどの障害者スポーツの普及、スポーツボランティアの育成等に努めてまいりました。区民等の団体が主催するスポーツイベントについては、運営経費を補助しております。</p> <p>また、今年度から「学校2020(ニーゼロニーゼロ)レガシー」を教育課程と位置付け、オリンピックとの交流など、未来を担う子どもたちにとって貴重な体験となるような教育活動を推進しております。</p> <p>このほか、「泳げる海、お台場」の実現を目指し、パリ市と連携した海水浴イベント「お台場プラージュ」を開催し、水質改善にも取り組むなど、様々な分野で東京2020(ニーゼロニーゼロ)レガシーの取組を行っております。</p> <p>今後もこうした取組を一層充実させることで、大会により高まった気運を継続するとともに、東京2020(ニーゼロニーゼロ)レガシーを後世に継承してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	(2)トライアスロン・パラトライアスロンのレガシーについて 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	唯一の会場となったトライアスロン・パラトライアスロンについての東京2020レガシーについても伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では、東京2020(ニーゼロニーゼロ)大会のレガシーの一環として、一般社団法人港区トライアスロン連合の練習場所に、学校屋内プールを提供しているほか、昨年度実施した第1回青山アクアスロンの運営経費の一部を補助するなど、支援をしてまいりました。</p> <p>また、お台場海浜公園等を会場とする「日本トライアスロン選手権」の開催に合わせて、公益社団法人日本トライアスロン連合と連携し、オリンピックとの交流やパラトライアスロンの機材に試乗するなどの授業を、お台場学園で実施しております。</p> <p>さらに、今月15日に開催の同選手権に、子どもたちを招待していただき、トップアスリートの迫力ある競技を、間近で体感できる貴重な機会になると考えております。</p> <p>引き続き、トライアスロンやパラトライアスロン競技の振興と支援に取り組んでまいります。</p>
質問項目 【担当課】	2 多様なスポーツの振興について (1)ゴルフ練習場の整備について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	競技人口が多く、老若男女が愛好するゴルフの練習場の設置について、課題は多いと思っておりますが、見解は。
答弁内容	<p>現在、ゴルフ練習場が可能な区有施設には、神明いきいきプラザの「トレーニングスペース」があります。</p> <p>また、北青山三丁目市街地再開発事業において整備するスポーツ施設では、多種目のスポーツが可能な施設としていくことを予定しており、先端技術を活用したゴルフ練習が可能なスペースの設置についても検討しております。</p> <p>今後とも、既存のスポーツ施設を再整備する際や、民間企業との連携等により、運動の場の確保に取り組む中で、ゴルフ練習場スペースの設置について検討してまいります。</p>

質問項目 【担当課】	(2)プロバスケットボールチームとの連携について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	<p>バスケットの競技人口は少なくない。港区の公立中学校でも野球部6校、サッカー一部3校に対して、バスケット部は10校すべてにあります。近隣区を活動拠点としているプロチームもあります。これらのプロチームと応援協定を締結するなど、積極的に連携を進めることについてどう考えるか伺います。</p>
答弁内容	<p>バスケットボールは、区内の小・中学生にも人気が高く、区立中学校の部活動では、千代田区と港区の公・私立中学校が参加する地区大会を勝ち抜き、東京都大会に出場する学校もあります。教育委員会では、プロ女子バスケットボールチームの「東京羽田ヴィッキーズ」と連携し、中学校の生徒や総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)が、選手やコーチから直接指導を受ける機会を設けているほか、一緒にゲームをするなどの交流を図っております。また、近隣の活動拠点を置く男子チームと、区内の小・中学生を試合観戦に招待するなどの連携について、調整を進めております。</p> <p>引き続き、こうしたプロチームとの連携により、地域や学校がチームを応援するような気運醸成に取り組む中で、スポーツをする楽しさや、みる楽しさを広めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	3 平和教育の体系作りについて 【教育指導担当】
質問要旨	<p>平和教育は平和自体を学ぶだけではなく、子どもの成長にあたって様々なことを学ぶ場ともなります。年齢に合わせて内容を段階的に展開し、生徒が持続可能な平和の重要性を理解し、平和を促進するためのスキルを養うため、平和教育の体系作りについて考えを伺います。</p>
答弁内容	<p>現在、各小・中学校における平和に関する教育については、学習指導要領に基づき、児童・生徒の発達段階に応じて行うこととしております。主に、国語科、社会科、特別の教科道徳で、年間指導計画にのっとり、平和に関する教材や関連施設などを活用して学習を行っております。</p> <p>小学校低学年では、道徳の時間に、生命の尊さを題材とした絵本を活用して、生命を大切に思い平和な世の中を願う心情を養っており、高学年では、学区にお住まいの戦争経験者と直接対話をすることや、地域の慰霊碑を訪問することなどを通して、体験的に平和について考える活動に取り組んでおります。</p> <p>また、中学校では、これまでに養ってきた平和に関する知識や自分の考えをもとに、社会科の歴史や公民の学習で、平和な世の中を実現するために自分ができることを提案しております。</p> <p>今後、教育委員会は、これまで各学年が取り組んできた平和教育をより体系的に行うことができるよう、区の教育研究会と連携し、地域教材を生かした港区ならではの平和教育の体系化について検討を進めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	4 給食費の保護者負担軽減策の継続について 【学務課】
質問要旨	<p>給食費の無償化を継続していくことについて伺います。</p>
答弁内容	<p>現下の物価高騰が続いている中、保護者負担が増加しないよう、給食費不徴収の継続について、検討してまいります。</p>

質問項目 【担当課】	5 同窓会支援について 【教育長室】
質問要旨	<p>同窓会は地域との連携、学校の発展において重要な存在です。同窓会はボランティアで運営されますが、運営費など様々な課題もあります。これからの時代、同窓会のホームページは不可欠だと考えます。</p> <p>各学校の同窓会のホームページ立ち上げについて行政が何らかの支援をするなど、同窓会の支援について考えを伺います。</p>
答弁内容	<p>同窓会は、卒業生が母校のすばらしさを伝えることや、卒業生同士の交流を活発にするなど、地域コミュニティや絆づくりの面で大切な役割を果たしていると考えております。</p> <p>現在、教育委員会では、学校改築等の際に、地域の声を聴きながら同窓会室を設けるなど、活動の場を整備しております。</p> <p>ご指摘も踏まえ、同窓会への効果的な支援の在り方について検討してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	6 海外修学旅行について 【教育指導担当】
質問要旨	<p>大胆で時代を切り開く新たな施策にはトップの説明責任は不可欠です。トップの熱意なくしては、新たな、挑戦的な事業にジャンプすることはできません。</p> <p>教育長に、なぜ来年から海外修学旅行を行うのか、思いの丈を率直に伺います。</p>
答弁内容	<p>修学旅行は、これまで区が行ってきたオーストラリアの海外派遣の成果を限られた生徒だけでなく、選考されなかった者、そして英語が苦手等との理由で選考を諦めてしまった者も含めて、多くの生徒に参加させたいという強い思いで提案させていただいたものでございます。</p> <p>コロナ禍の中、海外修学旅行の実施の目途が立ったことから、今回提案させていただきました。</p> <p>私は、今年8月に行われたオーストラリア海外派遣の中学校の部に参加させていただきました。現地子どもたちの姿をしっかりと見ることができたとともに、現地の大学の日本人の教授とお話しする機会もありました。</p> <p>その日本人の大学教授は、国際社会の中で海外から見て日本の地位の低下、そして教育の在り方等について、心配されていました。</p> <p>その中で教授からは、「若い世代のうちに海外を経験すること、これは自分の経験を踏まえて非常に大きなことで、意義のあることだ。」という話がありました。</p> <p>今回、海外派遣に行った子どもたちの様子を少しご紹介させていただきます。</p> <p>ホストファミリーとの別れの中で、ある生徒が泣いていました。私は「別れは寂しいよね。」と話したところ、生徒は「違うんです。たくさんの感謝を伝えなかったけれども、サンキューしか言えなかった。それが悔しいんです。自分の気持ち、感情をしっかりと伝えられるように英語をこれから勉強していきたい。」という話でした。</p> <p>また、ある生徒はホストファミリーに日本の歴史、文化について聞かれたそうです。港区から来るということで、港区のことを調べていたようで、勝海舟あるいは忠臣蔵の話をしたときに、「それについて自分は何も知らなかった。日本の歴史・文化、港区について、もうちょっとちゃんと勉強しよう。」という話でした。</p> <p>また、ある生徒は私の料理に箸が進まない状況を見て、「教育長、こちらの料理は美味しいですか。」と話がありました。その生徒の話を聞いたところ、「実家が日本料理店を営んでおり、自分が跡を継ぐかどうかは分からないが、日本料理の美味しさをぜひ世界、海外に伝えたい。」という話でした。</p> <p>また、ある生徒は今回の海外派遣を経験して、「ぜひ日本とオーストラリアの架け橋となるような仕事をしたい。」ということでした。</p> <p>今回、各款審議の教育費の中で、ゆうき委員から真の国際人という話がありました。</p> <p>子どもたちは、将来海外で活躍する人、日本の中で活躍する人、あるいは両方で活躍する人、たくさんいるかと思えます。</p> <p>私は、それぞれがそれぞれの立場で世界の中の日本を意識し、日本の強み弱みをしっかりと理解し、そして日本人としてのアイデンティティをしっかりと確立し、自分の考え、あるいは自分の主張をしっかりと伝えられる、当然そこには英語がツールとして必要ですので、しっかりと勉強していく、これが国際理解教育の目的であり、真の国際人につながるものだと思っております。</p> <p>今回の海外修学旅行、未来を担う子どもたち、そして私たちが未来を託す子どもたちに、ぜひ経験していただいて真の国際人になっていただきたいと思っております。</p> <p>今回の審議に当たりまして、議会の皆さんへの事前の情報提供、そして資料等の不足については、本当に申し訳なく思っております。お詫び申し上げます。</p> <p>今回の審議でいただいた御指摘あるいは御意見をしっかりと踏まえて、子どもたちにとって、魅力あるプログラムとなるよう一生懸命頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

委員名(会派名)	なかまえ 由紀委員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	1 区立図書館における声を出せる場所の拡充について 【図書文化財課】
質問要旨	図書館で読み聞かせやディスカッション、話し合いながら学ぶための声が出せる場所のニーズが高いです。空いている部屋の活用や三田図書館以外でもグループ学習室を整備するなど、図書館で声の出せる場所の拡大をお願いしたいと思います。 今後の方針について教育長の見解を伺います。
答弁内容	現在、全ての図書館では、親子が安心して声を出して利用できるおはなしコーナーを設けております。また、集会室等は、講座等の実施や、夏休み期間の自習スペースとして開放するほか、図書館運営に支障のない範囲で、社会教育団体に貸し出すなど、各図書館の実情に応じて活用しております。 今後、図書館の建て替えや大規模改修の際には、現在も高いニーズがあるグループ学習室や親子スペースなど、声の出せる場所の拡充を検討してまいります。
質問項目 【担当課】	2 海外修学旅行について 【教育指導担当】
質問要旨	総務常任委員会や決算特別委員会、その他各会派から、また区民や学校から、沢山の意見要望が来ています。 この事業を進めてきた教育長の事業にかける思いを伺います。
答弁内容	海外修学旅行は、国際社会を生き抜く子どもたちに向けた未来への先行投資と考えております。海外における現地の方との英単語とジェスチャーを交えた交流、多様な人種と互いの文化を理解し合う体験、そして海外から日本を客観的に見る機会、こうした機会は、子どもたちにとって貴重なものです。 私が8月に同行した海外派遣事業で、オーストラリア在住の日本人の大学教授と話す機会がありました。日本を離れて20年以上経っている方ですが、国際社会の中における日本の地位の低下、良い大学に入ることが目的となっている日本の教育について心配しておりました。早い段階で将来の目標に向かっていくオーストラリアの生徒と交流することや、海外と日本の違いを現地で感じることは、日本の子どもたちにとって非常に意義のあることだと話しておりました。今回の海外修学旅行も、全ての生徒が、自分の将来や生き方を考えるきっかけになるものと考えております。 私は、教育長として、これから港区で中学校生活を過ごす子どもたちが、区立中学校で過ごしてきたことに誇りを感じ、将来、夢や希望を持って国際社会で活躍する人に育ってほしいという強い思いで、海外修学旅行を実施したいと考えております。 未来への先行投資を、着実な成果につなげるため、皆様からこの間いただいた御意見、御指摘を踏まえ、しっかりと準備を進めるとともに、実施後はその効果検証を重ねることで、より良い事業となるよう努めてまいります。

委員名(会派名)	池田 たけし委員(公明党議員団)
質問項目【担当課】	1 ゲストティーチャーによる授業について 【教育指導担当】
質問要旨	子どもたちに対し、地域特性やゲストティーチャーを生かした、新たな価値観の提供や学びへの意欲を高める活動を、どのように進めていくのかお考えを伺います。
答弁内容	<p>現在、各小・中学校では、アスリートや区内外の事業者、地域住民や区長部局など、授業内容に応じた専門家をゲストティーチャーとしてお招きし、授業を行っております。</p> <p>今年度青山小学校では、教育委員会が紹介した区内の事業者をゲストティーチャーとしてお招きし、全校児童が使用済みのノートを集め、リサイクルをして新しいノートに作り替える学習に取り組んでおります。文房具メーカーの方と一緒に学習計画を立てて活動する中で、これまで実感することがなかった「SDGsは身近なところから取り組むことができる」ということを体験的に学んでおります。</p> <p>また芝浜小学校では、3年生が「芝浜の街紹介」に取り組んだ際、港区観光協会の方をお招きし、区が目指す「誰にでも優しい街づくり」の視点を教えていただき、新たにバリアフリーの視点を学ぶことができました。</p> <p>子どもたちが専門性の高いゲストティーチャーと対面して「生の声」を伺い、新たな価値観に触れることは、通常の授業で得ることのできない新しい気づきを生み出し、関心・意欲を喚起する重要な活動です。</p> <p>今後、教育委員会では、従前の担任だけの授業にとどまることなく、区内の企業や人材等、地域の教育力を積極的に活用した優れた実践の推進に努め、区立小・中学校の授業の更なる質の向上に取り組んでまいります。</p>

委員名(会派名)	兵藤 ゆうこ委員(みなと政策会議)
質問項目【担当課】	1 都立特別支援学校の給食費の負担軽減について 【学務課】
質問要旨	東京23区で小・中学校の給食費の無償化をする動きが広がっています。港区の都立特別支援学校の給食費を無償化をするべきと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	負担軽減の支援について、課題を整理し、検討してまいります。
質問項目【担当課】	2 学習支援について 【教育指導担当】
質問要旨	生活福祉調整課が実施する学習支援事業は、別の事業者です。目指している進路を把握し、学校とも連携を取るため、中学生への学習支援を教育委員会の事業である学びの未来応援学習講座に統合すべきと考えます。教育長の考えをお聞きます。
答弁内容	<p>教育委員会が実施している「学びの未来応援学習講座」、生活福祉調整課が実施している「学習支援事業ふらっばー」は、どちらも生活保護受給世帯及び就学援助受給世帯を対象とした事業です。</p> <p>これまで2つの事業の対象となる生徒は、それぞれの事業の目的に応じた利用を主体的に判断しておりました。</p> <p>教育委員会では、基礎学力の向上を行いながら、進路選択の支援を行うことは、生徒にとって有益であると判断し、事業の重複利用について検討を進めてまいります。</p>

質問項目 【担当課】	3 国際理解教育の推進について (1)海外派遣事業の見直しについて 【教育指導担当】
質問要旨	来年度からの中学校の修学旅行がシンガポールになるため、中学生の海外派遣の事業は終了とし、その分、小学生40人の海外派遣事業を2回実施し、定員を80人にするなど見直しをするべきと考えます。教育長のお考えをお聞きます。
答弁内容	海外派遣事業は、ホームステイ先での生活をはじめ、外国の自然、文化及び社会等に触れることを通して、コミュニケーション能力を高めることを目的としており、子どもたちの将来の進路や生き方にも影響を与える貴重な体験となっております。 海外修学旅行は、義務教育9年間の国際理解教育で得たことを、実際に海外で具体化するとともに、集団生活を通して仲間との心の触れ合いを深め、責任感や協調性を育むことを目的としております。 中学生の海外派遣事業を取りやめることは予定しておりませんが、プログラムの一層の充実を図り、子どもたちにとってかけがえのない経験となるよう努めてまいります。
質問項目 【担当課】	(2)国際理解教育に関わる担当課長の設置について 【教育指導担当】
質問要旨	海外修学旅行を現在は学校教育指導課長のもとで事業がすすめられています。今後も国際理解教育の推進に力をいれていくとされていますが、それならば担当する課長が必要です。教育長のお考えをお聞きます。
答弁内容	国際理解教育の一環として行う海外修学旅行は、学校の指導に直接関わることから、主に教育指導担当が業務を担っております。 これまで教育指導担当では、国際理解教育を推進するにあたり、生徒の実態などを把握したうえで、各学校に寄り添いながら指導や支援を行ってまいりました。 新たにに取り組む予定である海外修学旅行では、各学校との連携をこれまで以上に強固なものとし、学校や生徒、保護者の思いを受け止めながら進めていく必要があります。 今後、これまでのノウハウを生かし、教育委員会と学校が密接に連携を図る必要があることから、教育委員会では、新たに課を設けることは予定しておりませんが、あらためて業務を整理し、組織的に対応ができるよう努めてまいります。
質問項目 【担当課】	(3)海外修学旅行に係る補正予算計上等の経緯について 【教育指導担当】
質問要旨	今回、海外修学旅行を検討されている段階で、区民文教常任委員会に何故報告がなかったのか、突然に補正予算に計上することになったのか、理由について教育長にお聞きます。
答弁内容	教育委員会では、昨年度より海外修学旅行実施の検討を重ね、本年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、実施に向けた検討を本格化いたしました。 プログラムの内容を策定するにあたり、校長への意見徴収や課題の整理に多くの時間がかかり、区民文教常任委員会への御報告が遅れたことをお詫び申し上げます。 また、令和6年度当初予算として計上した場合、現在の中学1年生以下が海外修学旅行の対象となりますが、これまでコロナ禍の影響を受けてきた子どもたちに少しでも早く経験させたいという思いから、現在の中学2年生も対象となるよう本定例会にて補正予算として計上いたしました。

委員名(会派名)	白石 さと美委員(港区維新)
質問項目【担当課】	1 シンガポール修学旅行について (1)事前調査費用について 【教育指導担当】
質問要旨	事前調査に職員13名が現地に行き2泊4日で503万3000円も使っていらっしゃるようですが、具体的に何に使われているのか伺います。
答弁内容	来年度から実施を予定している海外修学旅行については、今年度末に教員と教育委員会事務局職員による現地の下見を予定しております。 具体的なコースの選定にあたり、全ての候補地を実際に訪れ、現地での生活が滞りなく進むよう努めてまいります。経費の詳細については、渡航者の航空機代、宿泊代、食事代、現地での交通費、視察に関わる入場料などです。 現地下見での確認事項は、機内での過ごし方や入国審査などの指導事項、宿泊先や現地での安全配慮事項、現地学生と生徒とのグループ活動の実施方法、生徒の食事の安全性やアレルギー対応、事故や怪我が起きた際の対応方法など、多岐に渡ります。 生徒を海外に引率する上で、安全・安心な海外修学旅行の実施は教員の責務でもあります。現地下見においては、経費に見合う、きめ細かな内容の確認を行ってまいります。
質問項目【担当課】	(2)複数者からの見積もりについて 【教育指導担当】
質問要旨	複数者からの見積もりの進捗はどうなっているのか伺います。
答弁内容	現在、教育委員会では、複数の旅行業者に事業内容を伝え、区立学校の全生徒がシンガポールへ渡航する事業規模を踏まえた見積もりを依頼しております。 各旅行業者に対しては、今後、教育委員会で行うプロポーザルによる事業候補者選定に参加していただき、競争原理を働かせる中で、本事業の実施にふさわしい委託先を決定していく予定です。

委員名(会派名)	福島 宏子委員(共産党議員団)
質問項目【担当課】	1 学校給食の負担軽減策の拡大について 【学務課】
質問要旨	23区では小・中学校の給食費の無償化が区立だけではなく大きく前進しています。先進区にない、特別支援学校、国立、私立、インターナショナルスクールなど、小中学校相当の子どもは、どこに通っていても全員支援するべきです。答弁を求めます。
答弁内容	区立小・中学校以外の、私立学校等に在籍する児童・生徒に対する負担軽減策については、それぞれに課題を整理し、子どもへの総合的な支援の在り方の中で、検討してまいります。
質問項目【担当課】	2 芝浦小学校の火災報知機について 【学校施設担当】
質問要旨	9月19日午前2時40分ごろ、火災警報器がけたたましく鳴り続けました。原因が明らかになるまでの間、夜間警備員を常備させること。答弁を求めます。
答弁内容	芝浦小学校については、これまで誤作動の多かった形式の感知器を令和3年度までに全て交換しております。 今回、誤作動が生じた感知器については、令和3年度までに交換した形式とは異なるものであり、初めて誤作動が生じております。 夜間警備員の常駐を予定しておりませんが、誤作動の生じた感知器と同じ形式のものについては、原因の究明を行うとともに、速やかに交換をしてまいります。

質問項目 【担当課】	3 海外への修学旅行について (1)生徒、保護者、関係者の意見について 【教育指導担当】
質問要旨	一度、立ち止まり、生徒、保護者、関係者の意見をよく聞いたうえで、方向を決めていく、民主主義の基本に立ち戻るべきです。答弁を求めます。
答弁内容	教育委員会では、実施方針をお示ししている海外修学旅行について、各中学校の校長や教員の意見を聞きながら検討を進めてまいりました。 また、区立中学校2年生の生徒及び保護者に対して、海外修学旅行に関するアンケート調査を実施し、来年度の実施に向けて期待することや心配することを聞いております。 今後、海外修学旅行の実施が決定した際には、これまでにいただいた様々な御意見を踏まえ、生徒にとって安全・安心な海外修学旅行となるよう取り組んでまいります。
質問項目 【担当課】	(2)誰もが納得する対策について 【教育指導担当】
質問要旨	パスポート費用やキャリアバックのレンタル料金は教育委員会が負担すること。特別支援学級の生徒に保護者が同伴せざるを得ない場合の費用は教育委員会で負担するなど誰もが納得できる対策を検討すること。答弁を求めます。
答弁内容	海外修学旅行の実施が決定した際には、各校の担当教員が参加する海外修学旅行検討委員会を開催し、渡航に関わる懸念事項や現地での安全確認をはじめ、特別な支援を要する生徒への個別の配慮など、一つひとつの具体的な事項の対応方法について検討し、丁寧に生徒、保護者に伝えてまいります。 パスポート取得費用については、取得状況が生徒一人ひとりで異なることから保護者に負担いただく予定ですが、パスポート取得費用を含めた海外修学旅行の保護者負担額は、従来の国内修学旅行の保護者負担額と同等とする予定です。 公費負担すべき項目は、教育委員会で整理・検討した上で、1月に開催を予定する保護者会において説明を行う予定です。

委員名(会派名)	とよ島 くにひろ委員(参政党の会)
質問項目 【担当課】	1 海外修学旅行についての補正予算案の提出について 【教育指導担当】
質問要旨	シンガポールへの修学旅行の議案を出すタイミングは、十分に議論のできる第1回定例会の予算で審議すべきであり、補正予算で通すべき議案ではないと考えますが教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	教育委員会では、昨年度より海外修学旅行の実施について検討を重ねてきており、本年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、実施に向けた検討を本格化いたしました。 令和6年度当初予算として計上した場合、現在の中学1年生以下が対象となりますが、これまでコロナ禍の影響を受けてきた子どもたちの体験機会の早期実現を目指す中で、現在の中学2年生も対象となる、来年度の実施の目途がたったことから、その準備費用も含めて、今定例会に補正予算案を提出いたしました。 今回いただいた御意見や御指摘はしっかりと受け止めてまいります。